

いつも、
池田銀行をご利用いただきまして、
ありがとうございます。



頭取 服部 盛隆

第86期のご報告を申し上げます。

①貸出金は、事業性貸出を中心に順調に推移し、年間827億円(年率5.5%)増加しました。
預金は、個人預金を中心に年間542億円増加しました。
なお、個人向けは、個人預金と預かり資産を含めて年間912億円(年率4.5%)増加しました。

②サブプライムローン問題が深刻化するなか、米国景気後退懸念が高まってきたこともあり、財務体質を強固なものとするために、保有有価証券の思い切った処理を行い、含み損をほぼ一掃しました。
また、有価証券の利回り改善等により、平成21年3月期には業績のV字回復を実現してまいります。

③保有有価証券の処理により、550億円の当期純損失の計上となったため、誠に遺憾ではありますが、無配とさせていただきます。
しかしながら、健全性の指標である自己資本比率は、10.75%と引き続き十分な水準を維持しております。
また、平成21年3月期はコア業務純益140億円、当期純利益120億円を見込み、復配を目指しております。

本年5月30日には、平成21年4月1日を目処に泉州銀行と持株会社を設立する方式により、経営統合を進めていくことについて「経営統合に関する基本合意書」を締結いたしました。

これからも、
創業のころ“親切で新しい”を大切に、
地域の皆さまのお役に立つよう努めてまいります。
引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月